

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年10月11日
【四半期会計期間】	第43期第2四半期（自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日）
【会社名】	エコートレーディング株式会社
【英訳名】	ECHO TRADING CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 高橋 一彦
【本店の所在の場所】	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番23号
【電話番号】	0798(41)8317(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 堀 和仁
【最寄りの連絡場所】	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番23号
【電話番号】	0798(41)8317(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 管理本部長 堀 和仁
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自平成24年3月1日 至平成24年8月31日	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日	自平成24年3月1日 至平成25年2月28日
売上高(千円)	37,938,422	37,494,667	75,954,186
経常利益(千円)	346,424	109,316	647,114
四半期(当期)純利益(千円)	202,304	68,471	356,429
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	190,827	77,718	375,735
純資産額(千円)	8,843,854	8,916,933	8,932,189
総資産額(千円)	28,133,904	27,187,490	25,079,058
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	33.52	11.34	59.05
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	31.4	32.8	35.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	97,308	3,030,888	321,993
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,335,396	13,870	1,311,097
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	195,022	2,303,582	1,111,785
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	4,776,120	3,961,505	3,220,329

回次	第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年6月1日 至平成24年8月31日	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	31.19	21.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税及び地方消費税(以下「消費税等」という。)は含まれておりません。
3. 第42期第2四半期連結累計期間及び第42期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第43期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、第1四半期連結会計期間において、当社は、株式会社ペットペット（所在地兵庫県西宮市）の全発行済株式を取得いたしました。これに伴い、当社の関係会社は子会社が1社増加いたしました。

これは、当社グループは、ペットソリューションカンパニーとして、人とペットが共生する豊かな社会の実現を目指して、ペット関連の卸売事業を中核にペットビジネスのフルライン化に努めておりますが、その一環としてこの度ペット総合情報サイト運営を行うものであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代による円高是正、経済政策への期待感による株価上昇など企業を取り巻く環境に明るい兆しが見え始めてきております。しかしながら、企業の設備投資や個人の所得は未だ低迷したままであり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

ペット業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループの中核であるペットフード・ペット用品の卸売事業では、昨年8月に立ち上げました総合ペットプランニング部を更に強化し、大手小売業との商品の共同開発、価格だけではない高付加価値商品の開発を進めております。また、物流面では引き続き物流改革プロジェクトチームによる関東エリア・関西エリア・九州エリアの物流業務の効率化を進めております。

一方、ベッツバリュー株式会社では、店舗開発事業の管理店舗数が194店舗になり、また、卸売事業の総合ペットプランニング部と連動し、新商品の開発支援及び販売を推進いたしました。

また、株式会社ケイ・スタッフでは、売り場活性化に繋がる営業企画提案を引き続き実施しており、卸売事業の販売促進を支援することによる売上拡大を図ってまいりました。

また、ココロ株式会社においては、インターネット通販事業の拡大を推進いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、374億9千4百万円（前年同期比1.2%減）となりました。また、低価格志向の影響によるペットフード及びペット用品類の販売単価の下落の進行や、小売業様の要望に応えるための物流編成を行なったことにより一時的に物流コストが上昇した結果、営業利益は1億3百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

経常利益は1億9百万円（前年同期比68.4%減）となり、また、四半期純利益は6千8百万円（前年同期比66.2%減）となりました。

なお、当社グループは、ペット関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億4千1百万円増加し（前年同期は14億3千3百万円の増加）、39億6千1百万円となりました。これは、主に財務活動によるキャッシュ・フローが23億3百万円の支出超過となったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが30億3千万円の収入超過となり、投資活動によるキャッシュ・フローが1千3百万円の収入超過となったことによるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果得られた資金は30億3千万円となりました（前年同期は9千7百万円の支出超過）。これは、主にたな卸資産の増加額3億4百万円及び未収入金の増加額1億6千9百万円があったものの、仕入債務の増加額38億1千7百万円が売上債権の増加額10億8百万円を28億8百万円上回ったこと及び未払金の増加額6億2千4百万円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果得られた資金は1千3百万円となりました（前年同期比99.0%減）。これは、主に有形固定資産の取得による支出1千8百万円及び無形固定資産の取得による支出1千6百万円があったものの、投資有価証券の売却による収入3千5百万円及び保険積立金の解約による収入2千8百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は23億3百万円となりました（前年同期は1億9千5百万円の収入超過）。これは、主に短期借入金の純減額22億円及び配当金の支払額9千6百万円があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ21億8百万円増加し、271億8千7百万円となりました。これは、主に現金及び預金が7億4千1百万円、受取手形及び売掛金が10億9百万円、商品が3億5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

受取手形及び売掛金が増加した要因は、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で回収予定の売掛金の回収が、一部翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億2千3百万円増加し、182億7千万円となりました。これは、主に短期借入金が22億円減少したものの、支払手形及び買掛金が37億9千9百万円、未払金が6億2千3百万円それぞれ増加したことによるものであります。

支払手形及び買掛金が増加した要因は、主に当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休日であることに伴い、当該日に銀行振込で支払予定の買掛金の支払が、翌月に繰延べられたことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1千5百万円減少し、89億1千6百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が5百万円、為替換算調整勘定が4百万円、新株予約権が3百万円それぞれ増加したものの、利益剰余金が2千8百万円減少したことによるものであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,036,546	6,036,546	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	6,036,546	6,036,546	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日	-	6,036,546	-	1,988,097	-	1,931,285

(6) 【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
国分株式会社	東京都中央区日本橋1丁目1番1号	1,105	18.31
高橋 一彦	兵庫県芦屋市	358	5.94
伊藤忠商事株式会社	東京都港区北青山2丁目5番1号	220	3.64
エコートレーディング共栄会	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番23号	209	3.47
古谷 洋作	大阪府泉南市	118	1.97
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3番1号	110	1.82
ユニ・チャーム株式会社	東京都港区三田3丁目5番27号	105	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	96	1.60
エコートレーディング従業員持株会	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番23号	76	1.26
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	74	1.23
計	-	2,474	40.99

(注) 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	68千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	67千株

(7) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,033,100	60,331	-
単元未満株式	普通株式 2,846	-	-
発行済株式総数	6,036,546	-	-
総株主の議決権	-	60,331	-

(注) 「株式数(株)」の「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が500株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数5個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) エコートレーディング株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番23号	600	-	600	0.01
計	-	600	-	600	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,220,329	3,961,505
受取手形及び売掛金	12,882,672	³ 13,891,719
商品	3,660,718	3,966,427
貯蔵品	17,436	15,942
未収入金	1,841,390	1,985,264
その他	200,257	201,177
貸倒引当金	5,427	1,479
流動資産合計	21,817,376	24,020,557
固定資産		
有形固定資産	1,544,443	1,539,584
無形固定資産		
のれん	535,955	501,514
その他	187,263	168,627
無形固定資産合計	723,218	670,141
投資その他の資産	² 994,019	² 957,206
固定資産合計	3,261,681	3,166,932
資産合計	25,079,058	27,187,490
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,558,491	³ 12,358,151
短期借入金	4,800,000	2,600,000
未払金	1,724,111	2,347,757
未払法人税等	238,578	76,562
賞与引当金	47,400	29,300
その他	252,244	342,601
流動負債合計	15,620,825	17,754,373
固定負債		
その他	526,043	516,183
固定負債合計	526,043	516,183
負債合計	16,146,868	18,270,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,988,097	1,988,097
資本剰余金	1,931,285	1,931,285
利益剰余金	4,986,064	4,957,961
自己株式	590	590
株主資本合計	8,904,858	8,876,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,882	30,057
為替換算調整勘定	2,448	6,519
その他の包括利益累計額合計	27,330	36,577
新株予約権	-	3,600
純資産合計	8,932,189	8,916,933
負債純資産合計	25,079,058	27,187,490

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	37,938,422	37,494,667
売上原価	32,989,296	32,658,501
売上総利益	4,949,125	4,836,166
販売費及び一般管理費	4,680,275	4,732,515
営業利益	268,850	103,650
営業外収益		
受取利息	4,120	3,604
受取配当金	5,708	4,160
持分法による投資利益	69,682	-
その他	29,807	35,142
営業外収益合計	109,318	42,908
営業外費用		
支払利息	22,877	17,347
持分法による投資損失	-	11,699
その他	8,866	8,195
営業外費用合計	31,743	37,242
経常利益	346,424	109,316
特別利益		
投資有価証券売却益	-	10,963
関係会社株式売却益	43,677	-
保険解約返戻金	-	20,207
その他	1,639	50
特別利益合計	45,316	31,221
特別損失		
固定資産除却損	6,382	7
特別損失合計	6,382	7
税金等調整前四半期純利益	385,358	140,530
法人税、住民税及び事業税	201,397	69,199
法人税等調整額	18,343	2,859
法人税等合計	183,053	72,059
少数株主損益調整前四半期純利益	202,304	68,471
四半期純利益	202,304	68,471

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	202,304	68,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,043	5,175
持分法適用会社に対する持分相当額	1,566	4,070
その他の包括利益合計	11,477	9,246
四半期包括利益	190,827	77,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,827	77,718

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385,358	140,530
減価償却費	69,156	63,562
のれん償却額	40,147	40,666
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,847	3,950
賞与引当金の増減額(は減少)	3,441	18,100
受取利息及び受取配当金	9,828	7,765
支払利息	22,877	17,347
持分法による投資損益(は益)	69,682	11,699
投資有価証券売却損益(は益)	-	10,963
関係会社株式売却損益(は益)	43,677	-
保険解約返戻金	-	20,207
固定資産除却損	6,382	7
売上債権の増減額(は増加)	1,300,503	1,008,979
信託受益権の増減額(は増加)	1,106	1,805
たな卸資産の増減額(は増加)	791,557	304,214
未収入金の増減額(は増加)	156,756	169,114
仕入債務の増減額(は減少)	1,633,687	3,817,284
未払金の増減額(は減少)	208,673	624,034
その他	45,361	94,378
小計	48,382	3,268,021
利息及び配当金の受取額	22,836	6,519
利息の支払額	20,694	15,836
法人税等の支払額	51,067	227,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,308	3,030,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,747	18,971
無形固定資産の取得による支出	11,783	16,499
投資有価証券の取得による支出	5,666	6,155
投資有価証券の売却による収入	-	35,000
関係会社株式の売却による収入	1,391,480	-
関係会社出資金の払込による支出	23,688	-
長期貸付けによる支出	1,500	-
長期貸付金の回収による収入	1,974	2,124
保険積立金の積立による支出	3,173	3,173
保険積立金の解約による収入	-	28,413
長期前払費用の取得による支出	500	1,514
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	6,184
その他	8,998	831
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,335,396	13,870

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	300,000	2,200,000
配当金の支払額	96,672	96,903
その他	8,304	6,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,022	2,303,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,433,110	741,176
現金及び現金同等物の期首残高	3,343,010	3,220,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,776,120	3,961,505

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

(1) 連結の範囲の重要な変更

株式会社ペットペットについては、新たに株式を取得したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形割引高	1,284,512千円	1,789,796千円

2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
投資その他の資産	2,301千円	2,299千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
受取手形	- 千円	43,835千円
支払手形	- 千円	270,518千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
荷造運搬費	1,846,247千円	1,852,710千円
貸倒引当金繰入額	1,901千円	3,948千円
報酬及び給料手当	1,217,463千円	1,239,849千円
賞与引当金繰入額	46,232千円	29,300千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	4,776,120千円	3,961,505千円
現金及び現金同等物	4,776,120千円	3,961,505千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月23日 定時株主総会	普通株式	96,575	16	平成24年2月29日	平成24年5月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月10日 取締役会	普通株式	96,574	16	平成24年8月31日	平成24年11月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月29日 定時株主総会	普通株式	96,574	16	平成25年2月28日	平成25年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月10日 取締役会	普通株式	60,359	10	平成25年8月31日	平成25年11月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

当社グループは、ペット関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	33円52銭	11円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	202,304	68,471
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	202,304	68,471
普通株式の期中平均株式数(株)	6,035,947	6,035,902
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	平成25年度 有償ストックオプション (普通株式 300,000株)

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....60,359千円

(ロ) 1株当たりの金額.....10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月8日

(注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

エコートレーディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 芝池 勉 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 洋之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエコートレーディング株式会社の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エコートレーディング株式会社及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。